

学年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
1年	<ul style="list-style-type: none"> 元気に歌ったり友達と仲良く手遊びをしたり、楽しく活動をしている。 わらべうたでは、ペアで協力して交流することができる。 ひらがなを読むスピードが遅かったり、器楽では、指がうまく動かせなかったりする児童がいる。 	<p>A 旋律に合わせて言葉がついていけない児童のために、デジタル教科書を用いてテンポをおそくして練習をしたり、拡大文字のプリントを用意したり、教材を工夫する。</p> <p>B けんぱんの学習では指を丸くする、小節のはじめの音だけを演奏する、音譜通りに演奏する、運指を考えて演奏するなど、個々にあったレベルを設定する。</p>	<p>○音楽に合わせて歌詞を目で追えない児童のために、デジタル教科書でテンポを遅くしたり、イラストを用いて歌詞の意味を写真で示したり、音をゆっくりにしたり視覚化する工夫をした。</p> <p>△けんぱんハーモニカでは、運指を考えてなめらかに演奏することが難しい児童がいた。</p>
2年	<ul style="list-style-type: none"> 拍にのってリズムを唱える活動は、どの児童もできるようになったが、リズムリレーでは、リズムにのりきれず止まってしまう児童がいて音楽の流れが止まってしまう場面がある。 	<p>B リズムボックスを利用して、いろいろなリズムにのって言葉を唱える活動を取り入れる。リズムにのってつくった音楽を全体でリレーをする活動を取り入れる。</p> <p>C レベルにあった楽譜を用意し、自信を持たせる。</p>	<p>△いろいろなリズムを体で感じ取ってクラス全体で演奏することは普段の体験不足のため、スムーズにいかない場面があった。</p> <p>○いろいろなレベルの楽譜を用意することによって、できるという思いを持たせることができた。</p>
3年	<ul style="list-style-type: none"> 新しくリコーダーが楽器に加わり、どの児童も姿勢や持ち方など気を付けながら演奏をしている。すぐに持ち方や吹き方を忘れて左手で持ったりタンギングができなかったりする児童がいる。 グループ活動の中で話し合いの場を設定したが、意見を出し合って班長がうまくまとめる班と、自分の意見をお互い主張して話し合いがまとまらない班がある。 	<p>B 電子黒板を用いてタンギングの方法や姿勢などを確認する。</p> <p>A お互いの音を聴きあい、気持ちの良い音色が友達と確かめ合う活動を取り入れる。</p> <p>C 一人一人の意見を出し合い、よいところを認め合い譲り合うことも話し合いの中で取り入れるようにする。</p>	<p>○リコーダーでは、映像を用いたり、お手本を見せたり、一人一人個別指導をするなど、個にあったレベルを提示し、運指がなめらかにできる児童を増えた。</p> <p>○お互いの音を聞き合いながら合奏がでるようになってきた。</p> <p>△ペア学習やグループ学習を通して良いところを見付ける活動を行ったが、互いを高め合うところまではできなかった。</p>
4年	<ul style="list-style-type: none"> 歌を歌う、楽器の演奏は進んで行くが、リズムにのって演奏することが苦手である。 運動会の応援の声と歌の音が歌い分けられない児童がいる。 一生懸命発表をするが、姿勢や声の出し方などなかなかおらない児童がいる。 	<p>B 楽器やリズムボックスを用いて、いろいろなリズム体験をさせる。</p> <p>A ペア学習やグループにより自分の声と友だちの声を聴き比べる。</p> <p>D 発表の様子の感想を書かせ、自己評価と相互評価をさせる。</p>	<p>△自分が考えたリズムを発表することができるが、曲の流れに乗ってリズムを唱えることは苦手な児童が多かった。</p> <p>○ペア練習で教えあいながらリコーダー学習を進める児童が増えた。</p> <p>○学習プリントを基に、班長が中心となってお互い教え合いながら学習を進める班が出てきた。</p>
5年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の出す声を考えながら発生する児童が増え、頭声発声の感覚をつかんでいる児童が増えた。半面、声を出すことが恥ずかしい児童もいる。 リコーダーの運指がスムーズな人とサミングがうまくいかず、練習が進まない児童がいる。 	<p>C ペアやグループ活動でお互い励ましあいながら楽しく活動をする場を多く持つ。</p> <p>B 個に応じた練習方法をいくつか用意し、自分でレベルを選んで練習をさせる。</p>	<p>○一人一人のレベルにあった曲を編曲し、表現の日では、しおみ学級を含め全員が自信を持って演奏をすることができた。</p> <p>△自分の練習は一生懸命できるが、お互い教え合いながら学習を深めることができない児童が多かった。</p>
6年	<ul style="list-style-type: none"> 曲を分析して、歌詞の意味や強弱を考えながら演奏する児童がいるが、自分の思った音楽をうまく表現できない児童もいる。 技術的にはできるが、ダイナミクスなどの音楽表現がうまくいかない人がある。 	<p>C 同じパートの楽器同士やグループ学習を用いて互いのわからないことを教えあう活動を進める。</p> <p>D グループ発表では、よかったところ、こうすればもっとよくなる所をプリントに書き、伝え合う活動を取り入れる。</p>	<p>○自分のやりたい楽器やパートを熱心に進んで練習することができた。</p> <p>○ペア学習やグループ学習では、お互い高め合いながら活動することができた。</p>

